

Wildlife Research Institute co. Ltd.



北海道の動植物の調査・解析と環境保全の総合コンサルタント

株式
会社

野生生物総合研究所



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

弊社は経験豊富な生物調査専門家が集い、生態環境調査・環境アセスメント・自然復元等にかかわる様々な調査ニーズに応えるため、日々技術の研鑽と知識の集積に励んでおります。

有益かつ的確な生態環境情報の提供や環境教育にも取り組んでまいります。

皆様におかれましては、今後とも末長くおつきあいただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

会社設立以来、重点的に野外調査に取り組んでまいりました。今後これに加え、知識や情報の整理・解析を進め、

株式会社 野生生物総合研究所
代表取締役 安細元啓

● 会社概要



株式会社 野生生物総合研究所 Wildlife Research Institute Co. Ltd.

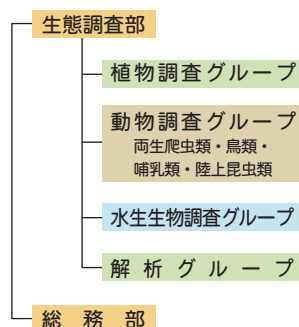
代表者 代表取締役 安細元啓
取締役 仲島広嗣

資本金 1,100万円 役員員数 9名
労働者派遣事業
許可番号: 派01-300602

沿革

1998年(平成10年)5月11日
有限会社 野生生物総合研究所として設立
1999年(平成11年)5月28日
株式会社 野生生物総合研究所に組織変更
2003年(平成15年)8月21日
建設コンサルタント建設環境部門 登録
2009年(平成21年)11月26日
第一回無担保社債3,000万円を発行
2012年(平成24年)11月26日
第一回無担保社債3,000万円を償還
2015年(平成27年)9月30日
第二回無担保社債3,000万円を発行
2018年(平成27年)7月25日
第三回無担保社債3,000万円を発行
2018年(平成30年)9月28日
第二回無担保社債3,000万円を償還
2023年(令和5年)7月25日
第三回無担保社債3,000万円を償還
第四回無担保社債3,000万円を発行

組織



学術顧問

酒井健司
技術士(環境部門・自然環境保全)
技術士(建設部門・建設環境)
環境カウンセラー(市民部門)

客員研究員

志田祐一郎(植物)
博士(農学)、生物分類技能検定1級植物部門
櫻井正俊(昆虫類)
生物分類技能検定1級動物部門(昆虫専門)
著書『北海道の蝶と蛾(共著)』
石田裕一(鳥類・昆虫・クモ類)
生物分類技能検定1級動物部門(鳥類専門)

業務関連有資格者、許可・承認

技術士

環境部門 自然環境保全: 1名
建設部門 建設環境: 1名

生物分類技能検定

1級 動物部門(昆虫類専門): 1名
1級 動物部門(魚類専門): 1名
1級 動物部門(哺乳・爬虫・両生専門): 1名
1級 水圏生物部門(魚類専門): 1名
1級 水圏生物部門(底生生物専門): 1名

水質関係第4種公害防止管理者: 1名

狩猟免許

わな猟: 2名
第一種銃猟: 2名
網猟: 1名

自然観察指導員: 1名

鳥類標識調査者: 1名

2級特殊小型船舶操縦免許: 1名

4級小型船舶操縦士: 1名

第三級陸上特殊無線技士: 1名

UAV飛行許可(道内・DID・30m・目視外): 3名

JUIDA 無人航空機安全運行管理者: 1名

JUIDA 無人航空機操縦技能: 1名

● 主な実績



■ 動植物調査

- ・マガン等モニタリング調査(宮島沼)/ 環境省
- ・群別川ほか生態系調査検討業務/ 独立行政法人 北海道開発土木研究所
- ・札幌市地域別環境要素データベース整備業務(オカバルシ川周辺等)/ 札幌市
- ・霧多布湿原生物生息調査/ NPO法人 霧多布湿原トラスト
- ・河川生態系調査検討/ 独立行政法人 北海道開発土木研究所
- ・達古武沼(釧路湿原)環境調査/ 環境省
- ・美利河ダム河川植生調査/ 独立行政法人 北海道開発土木研究所
- ・河川水辺の国勢調査/ 民間会社
- ・水と緑の溪流づくり調査/ 民間会社
- ・道路建設に関わる動植物生態調査/ 民間会社
- ・ダム建設に関わる動植物生態調査/ 民間会社
- ・ダム周辺における植物・水生生物モニタリング調査/ 民間会社
- ・漁港建設に関わる鳥類行動圏調査/ 民間会社
- ・空港拡張に伴う動植物調査/ 民間会社
- ・発電所周辺における植生モニタリング調査/ 民間会社

■ 環境情報サービスおよびコンサルティング

- ・北海道レッドデータブック作成業務/ 北海道
- ・北海道レッドデータブック作成に関する調査研究業務/ 北海道
- ・せせらぎスクール講師派遣/ 自治体・NPOなど
- ・河川生物データセット/ 北海道環境科学研究センター
- ・希少野生動植物種保護増殖事業パンフレット作成/ NPO法人 霧多布湿原トラスト
- ・霧多布湿原いきものリスト/ NPO法人 霧多布湿原トラスト

■ 環境保全計画および環境管理計画

- ・国設鳥獣保護区設定に関する調査(宮島沼、支笏湖)/ 環境省
- ・森発電所植生モニタリング調査/ 北海道電力株式会社
- ・レプンアツモリソウ保護増殖事業調査/ 環境省
- ・浜中町農村環境保全整備事業/ 浜中町

■ 動植物に関する基礎研究

- ・焼尻島植生調査/ 焼尻島エコベースプロジェクト
- ・ステップ・プールと底生生物の基礎研究(郡別川、薄別川)/ 北海道大学

動植物調査

自然環境調査、環境アセスメント調査など、熟練と専門性が要求される動植物調査に対して、豊富な経験と知識を備えた私たち研究員が的確なリサーチを行ないます。

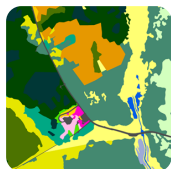
自然環境の改変は、そこに生息する生物への配慮が必要不可欠です。私たちは自然環境の保全・復元・創出を視野に入れ、動植物の相互の関係《生態系》の把握に努めています。



環境情報サービスおよびコンサルティング

GISによる環境情報の整理

現地調査で得られる動植物のデータ、GPSやドローン空中写真などの地理情報について、GISを用いて総合的に整理・解析し、環境情報サービスやご提案に活用しております。ドローン空中写真の撮影およびデジタルオルソ、河川水辺の国勢調査のデータ変換など、様々なニーズに対応いたします。



環境情報サービス

動植物・自然環境に関する情報提供、写真貸出、イラスト作成のほか、パンフレットやガイドブック、WEBコンテンツの企画・制作などを専門的知識でサポートします。

環境教育

野生動植物・自然環境に関する講師、自然観察指導員の派遣や、環境教育、環境調査技術習得の支援プログラムの企画を行ないます。

環境保全・管理計画

人と自然の共生をめざした、適切な保全・活用の手法を提案します。

特定動植物の保護対策、エコロード、親水型・多自然型の河川管理など、自然環境の破壊を未然に防止するための環境管理計画の策定をお手伝いします。



動植物の基礎研究

NPO、大学、関係研究機関と連携し、貴重な動植物の生態研究、生態系・ビオトープの評価、長期にわたるモニタリングなどを進めています。



労働者派遣事業

労働者派遣事業法に基づき、野生動植物と環境保全の専門的知識と現地調査の実務経験を持つ人材を派遣します。



株式会社 野生生物総合研究所

〒001-0017

札幌市北区 北十七条西四丁目 1番3号 マミヤビル3階

電話 011-700-6737 FAX 011-700-6738

URL <http://www.wildlife.co.jp/>

電子メールでのお問い合わせはサイト内の
フォームより承ります。

v2505 (C)2025 Wildlife Research Institute Co. Ltd.

